

令和3年度 学校評価について

学校評価アンケートより、特にご意見の多かった点についてお知らせします。

○今年度は、コロナ禍においても教育活動を工夫しながら展開できたことが評価され「十分あてはまる」と高い評価をいただきました。

- どの項目においても同様に評価されました。
- コロナ禍において「登校を楽しみにできる学校」「安心して登校できる学校」「感染症対策の充実」を見てみると、保護者の「十分あてはまる」は、60%～90%、教員は、50%～80%の高い評価となっています。



- 「自立と社会参加に向けた授業」においても保護者の「十分あてはまる」は、70%～90%、教員は、30%～47%となっています。



- 教員の自己評価が保護者よりも低く出る傾向として、昨年よりも更に教育活動を工夫することができたのではないかと課題意識をもっているためであると考えられます。

○情報モラル・いじめに関する指導における課題

- 昨年に引き続き教員のグラフから「十分あてはまる」の数値を見てみると学年が上がるごとに数値があがっています。GIGA スクール構想が今後展開されるため意識が高いと言えます。
- いじめに関する指導においては、引き続き早期発見・早期対応に努めてまいります。

GIGA スクール構想が今後展開されることから、小学部から段階的な「情報モラルに関する指導」について、教職員の研修の充実を図ってまいります。

さらには、保護者の方の交流及び共同学習への期待値の高さから、本校の児童生徒の理解啓発とともに更なる発信や深め合える活動を計画し、「地域で共に学び、共に生きる」教育を推進してまいります。